

第18回機械式時計技術講習会

主催：一般社団法人日本時計輸入協会
実施：ヒコ・みづのジュエリーカレッジ ウォッチメーカーコース
期間：2016年 5月12日(木)～7月14日(木)
毎週 木曜日 18:30～21:00 全10回

日付	内容
第1回 5/12(木)	<ul style="list-style-type: none">・時計工具の使い方、手入れの仕方・ETA6497、ファンクションチェック・ウィッチ・エキスパートの使い方説明・歩度測定 ・時計の精度について・緩急針の説明 ・精度調整の実習
第2回 5/19(木)	<ul style="list-style-type: none">・ETA6497を分解しながら時計の構造、仕組みについて(表)・時計の部品名・分解しながら輪列のアガキ確認 ・組立て(表)・脱進機、调速機について・等時性について
第3回 5/26(木)	<ul style="list-style-type: none">・ETA6497を分解しながら時計の構造、仕組みについて(表裏)・ゼンマイについて、及び扱い方(香箱は開けない)・ETA6497、手洗い洗浄の方法、及び実習・機械洗浄の説明
第4回 6/2(木)	<ul style="list-style-type: none">・組立て(表裏)・注油について・油の種類、及び油に求められる条件について・オイラーの説明、及び使い方・組立てながら時計への注油練習(輪列、裏回り)
第5回 6/9(木)	<ul style="list-style-type: none">・組立てながら時計への注油練習(脱進機、耐震装置)・耐震装置について・歩度調整
第6回 6/16(木)	<ul style="list-style-type: none">・ETA6497の文字盤、針取り付け方法、及び実習・外装の説明、ケースの構造、種類、及び扱い方・ETA6497ケーシング(巻真の長さ合わせ)
第7回 6/23(木)	<ul style="list-style-type: none">・こじ開け、ケースオープナーの使い方・時計の防水について・防水試験機の種類と機能説明、及び扱い方・バンド、ブレスの種類、扱い方、調整方法・ブレスの駒詰め練習
第8回 6/30(木)	<ul style="list-style-type: none">・カレンダー機構の説明(ETA955-412使用)・クォーツ時計の構造、仕組みについて・ウィッチ・ニューテックハンディーの使い方・クォーツ時計の測定
第9回 7/7(木)	<ul style="list-style-type: none">・電池についての説明・クォーツ時計の分解、組み立て、注油実習(表のみ)・クォーツ時計の測定
第10回 7/14(木)	<ul style="list-style-type: none">・自動巻き機構の説明・クロノグラフ機構について・いろいろなクロノグラフを紹介、及び実演

(一社)日本時計輸入協会主催
第18回 機械式時計技術講習会について

機械式時計技術講習会(基礎知識からオーバーホールまで) Q&A

- ① Q : 日本時計輸入協会の技術講習会とはどのような講習会ですか？
A : 当初は機械式時計の技術者育成をテーマに発足した講習会でしたが、現在は簡単な理論や構造を勉強出来る入門編の技術講習会です。
- ② Q : 講習会は何処でどのような形でおこなわれるのですか？
A : 渋谷のヒコ・みづのジュエリーカレッジ(ウオッチメーカー コース)で優秀な技術講師の指導のもと、少人数で行われ、講習会修了者には修了証書が渡されます。
- ③ Q : どのような人を対象とした講習会ですか？
A : 基本的に輸入時計に係わりの有る仕事に従事している方を対象とした講習会です。
- ④ Q : 具体的にどのような内容の講習会ですか？
A : 大型腕時計を中心とした教材でケースと機械の分解組立てを行ない、構造や理論の基礎を把握すると共に、防水や精度測定機の使用法、又クォーツ時計の概要についての講義・実習も有ります。
- ⑤ Q : この講習会を受けるとどのようなメリットが有りますか？
A : 機械式時計の機能を把握する事により、ユーザー、店頭、営業、技術者とのコミュニケーションの円滑化と拡大が計れ、過去の受講者や受講者派遣企業からも、わかり易く今後のビジネスに大変役に立つと、高い評価を頂いています。また、今後のウオッチコーディネーター資格検定筆記試験合格者に受けていただく1日の実技実習を免除致します。
- ⑥ Q : 受講料の他に何か必要なものが有りますか？
A : これまでは、機械を分解、組立てをするのに基本的な工具が必要でしたが、現在は全て貸し出しを致しますので持参される必要はございません。
- ⑦ Q : 講習会の受講を終了すると時計の修理が出来るようになりますか？
A : この講習会は入門編ですので機械時計の基礎を知る事は出来ますが、お客様の時計を修理する事は出来ません。更なる修理技術の習得を希望される方はヒコ・みづのジュエリーカレッジでご自分に適したコースを受講することを推奨致します。
- ⑧ Q : 講習会はいつ行われるのですか？
A : 2016年(第18回)は5月12日から7月14日までの毎週1回(木曜)PM6時30分～9時00分までの全10回を予定しています。